

山口県障害者交流ボッチャ大会競技規則

レクボッチャの部

公益社団法人山口県障害者スポーツ協会

1. 設備と器具

(1) コート

コートは、バドミントンコートを使用し、図1のとおりとする。

(2) ボール

1セットは、赤ボールが6個、青ボールが6個、白色のジャックボールが1個である。マイボールの使用も認める。

2. ゲーム方式

(1) チーム構成は、3人1組とし、障害者2名以上とする。

(2) 競技は団体戦とし、予選リーグ、決勝トーナメントともに2エンドとする。ただし決勝戦と3位決定戦は4エンド行う。1エンドとは、両チームが全てのボールを投げ終わったときとする。

(3) 1試合の試合時間は、予選リーグ、決勝トーナメントは15分間、決勝戦、3位決定戦は20分間とし、試合終了時間の3分前を経過した場合は新しいエンドに入らない。

(4) 1人が2球の持ち玉となるが、投球順については規制しない。

(5) 選手はアシスタントに競技の補助（ランプの支え等）をしてもらっても良いが、助言、指示等を受けることは出来ない。但し、視覚障害者及び重度の知的障害者への助言は認めることとする。

3. 勝敗

(1) 各エンドの得点を加算し、合計点がより多い方のチームを勝ちとする。同点の場合には、タイブレイクにより決定する。

(2) タイブレイクは、ジャックボールをクロスに置き、ジャンケンで、先攻・後攻を決定する。

(3) 投球は1人1投（チームで3投）とし、ジャックボールに一番近いチームの勝ちとする。

(4) タイブレイクの得点も加算することとする。

(5) 棄権又は、試合開始時間より5分経過しても対戦チームがいない場合、相手チームに6点を与える。

4. ゲームの展開

(1) ジャンケンで先攻（赤ボール）・後攻（青ボール）を決める。

(2) 1エンドは赤の1番の人が、白のジャックボールを投げる。ジャックボールが有効だった場合、続けて同じ人が赤ボールを投げる。ジャックボールが無効の場合は、相手ボールとなり、青の1番がジャックボールを投げる。

(3) 赤1番→青1番と投げたら、次はジャックボールに近いボールが赤だったら青が投げる。以下、同様にジャックボールに一番近いボールでないチームが投げる。

(4) スローイングボックスの中であれば、どこから投げてもかまわない。どこに投げるかチーム内（選手同士）で相談してもかまわない。

(5) 以下の場合はファールとする。但し、ファールは注意（忠告）をすることとし、ペナルティーとカウントしない。

① 線を超えて又は、踏んで投げた場合

② 審判の指示板が出される前に投げた場合

